宮ヤマのE231系

宮ヤマ…東日本旅客鉄道大宮支社小山（ヤマ）車両センターに
所属する車両であることを示す表記

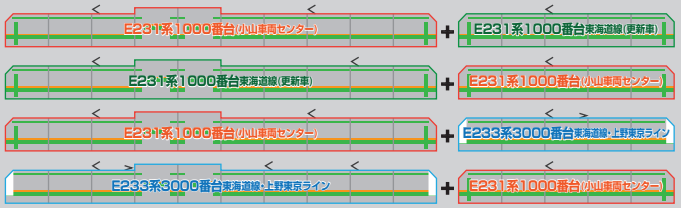
E231系小山車とは

E231系1000番台は平成12年(2000)に、それまで宇都宮線(東北線)や高崎線で活躍していた115系や211系の置き換え用として登場しました。2000年代初期に小山車両センターに投入された編成はE231系1000番台の初期車で、緑帯が連続する側面幕板部、先頭車の乗務員扉上まで伸びる長いランボード、非グラスコックピットの運転台コンソールや編成のトイレの位置など、平成16年(2004)以降に東海道線向けに登場した増備車とは異なる特徴を持っています。

国府津車との混結を楽しむ

10-1267S～1270S
E233系3000番台
東海道線・上野東京ライン

10-1784～1787
E231系1000番台
東海道線(更新車)



※E231系1000番台東海道線(更新車)と連結する際は、モーター特性の違いなどにより、強調運転が安定しない場合があります。

迫力あるサウンドで運転を楽しむ

機器更新後のE231系の音はE233系の音に近似しているので、E233系のサウンドカードがオススメ！

22-202-5
サウンドカード＜E233系＞

22-102
サウンドボックス(サウンドカード別売)

小山車両センター所属車の特徴を再現

非グラスコックピットの運転台コンソールを再現

トイレのない10号車(クハE231-6022)を再現

乗務員ドア上のランボードの長さの違いを再現

初期車に見られるAU75B形クーラーを新規に製作

※E231系1000番台(小山車両センター)はいずれも試作品です。

N E231系1000番台(小山車両センター)　10-2001　10両セット　10-2002　5両付属編成セット

KATO PRECISION RAILROAD MODELS

JR東日本商品化許諾済